

いま見える未来は、超えていける。

安田倉庫は、挑戦を続けます。

国境も、従来の物流の枠も超える、ボーダレスなロジスティクスカンパニーへと進化するために。

そして、お客様が思い描く事業と社会の新しいかたちを創造するために。

2022年3月期 第2四半期決算説明会

安田倉庫株式会社（東証一部：9324）

代表取締役社長 藤井信行

2021年11月16日

YASDA

Logistics, Progress, Borderless.

目次

1. 安田倉庫について
2. 事業環境
3. 2022年3月期 第2四半期（上期） 実績
4. 2022年3月期 通期の見通し
5. 参考資料

01

安田倉庫について

会社概要

会社名	安田倉庫株式会社 Yasuda Logistics Corporation
所在地	東京都港区芝浦三丁目1番1号 msb Tamachi 田町ステーションタワーN 29階
創立	1919年12月20日
代表者	代表取締役社長 藤井 信行
事業内容	倉庫業、運送事業、不動産業
資本金	3,602,100千円
市場	東証一部（証券コード：9324）
従業員数	単体 430名 連結1,516名（2021年3月期）
連結子会社	14社（国内10社 海外4社）



msb Tamachi
田町ステーションタワーN

企業理念・コーポレートスローガン

安田倉庫グループ企業理念

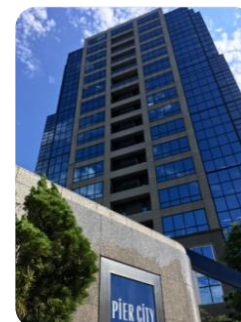


安田倉庫コーポレートスローガン

Logistics, Progress, Borderless.

お客様と共にグローバルなロジスティクスカンパニーに成長すべく、当社グループが一体となり、その一人一人が従来の事業の枠にとらわれることなく常に発展・成長を続け、物流を進歩させていく決意を表しています。

様々なサービスを提供する総合物流企業



02

事業環境

事業環境（2021年度上期）

物流

倉庫

- ▶ 荷動きは昨年度より回復も
一昨年度の水準には達せず
- ▶ 出庫先行により保管残高は適正水準に

国内輸送（特積・宅配）

- ▶ toB輸送のコロナ禍からの一定の回復と、
EC伸長に伴う宅配輸送好調により、
一昨年度の水準並み

輸出入（海上コンテナ）

- ▶ 輸出を中心とした昨年度よりの回復も
海上コンテナ不足などの影響もあり、
一昨年度の水準には達せず

輸出入（航空便）

- ▶ 海上コンテナ不足の影響による、
航空便輸送への切替の影響により、
直近3年の中でも高水準に推移

不動産

東京ビジネス地区

- ▶ リモートワーク普及に伴うオフィス形態
見直しの動きなどにより空室率上昇基調
- ▶ 募集賃料相場も20年後半より減少傾向

横浜ビジネス地区

- ▶ 空室率は東京ビジネス地区より
低水準であるものの上昇基調
- ▶ 募集賃料相場は高止まり

※ 「5 参考資料」（33ページ以降）に
物流・不動産の業界データを掲載しております。

03

2022年3月期 第2四半期（上期）の実績

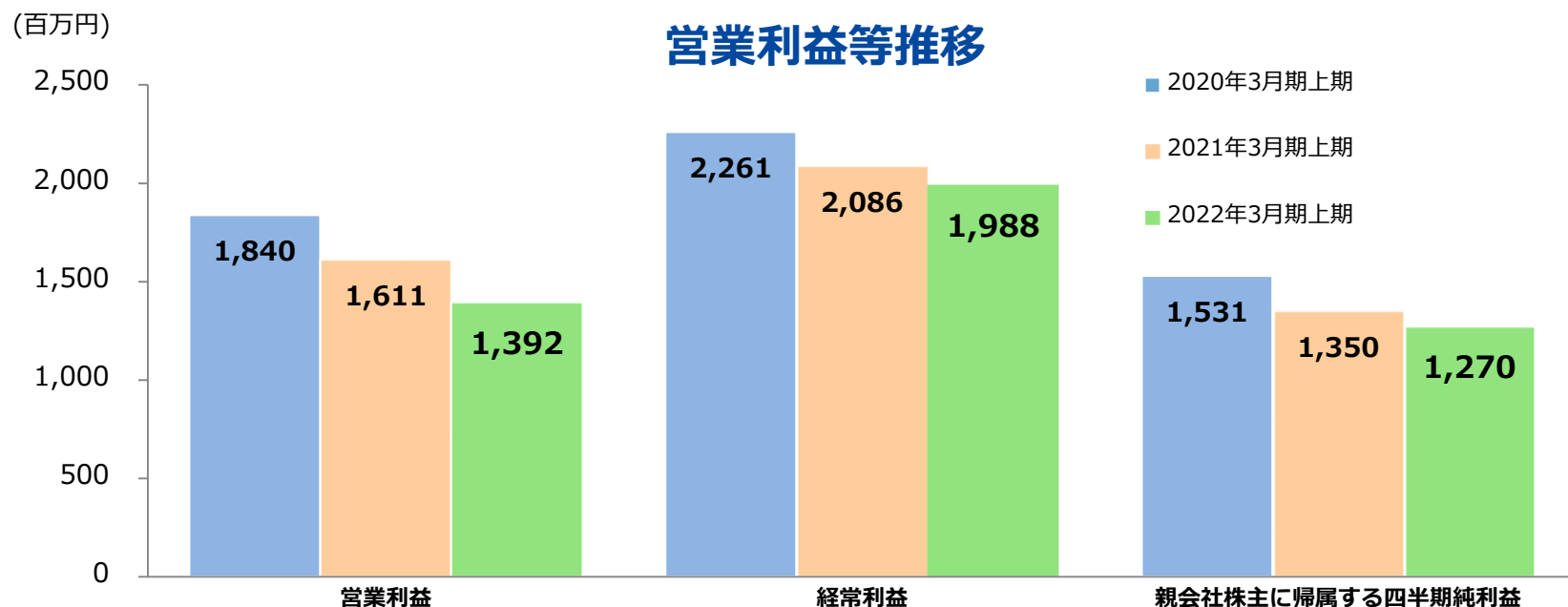
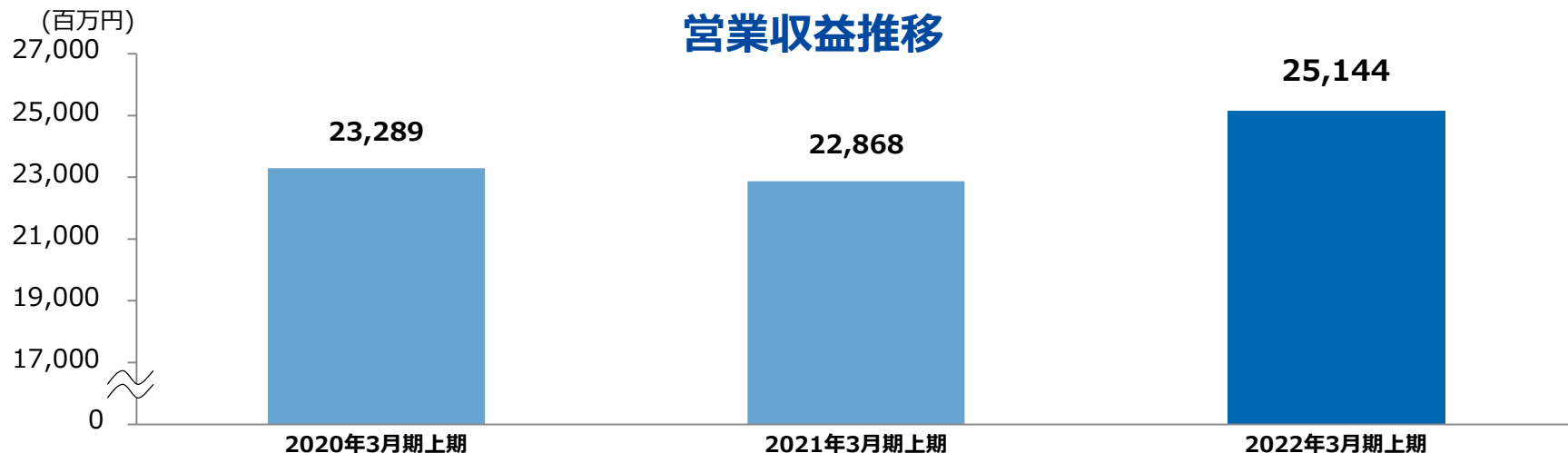
当社業績

(単位：百万円)

	連結		前年同期比		見通し対比
	前期上期 21/03期2Q	今期上期 22/03期2Q	増減額	増減率	増減率
営業収益	22,868	25,144	2,276	10.0%	0.2%
営業利益	1,611	1,392	△219	△13.6%	7.1%
経常利益	2,086	1,988	△97	△4.7%	4.6%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,350	1,270	△80	△5.9%	5.8%
営業利益率	7.0%	5.5%	△1.5pt	-	-
1株当たり 四半期純利益 (円)	46.65	43.87	△2.78	△6.0%	-

	前期末 21/03期4Q	今期上期末 22/03期2Q	増減額	増減率
総資産	147,101	151,212	4,110	2.8%
純資産	76,235	77,372	1,136	1.5%
自己資本比率	51.6%	51.0%	△0.6pt	-
1株当たり純資産 (円)	2,622.46	2,661.02	38.56	1.5%

業績推移

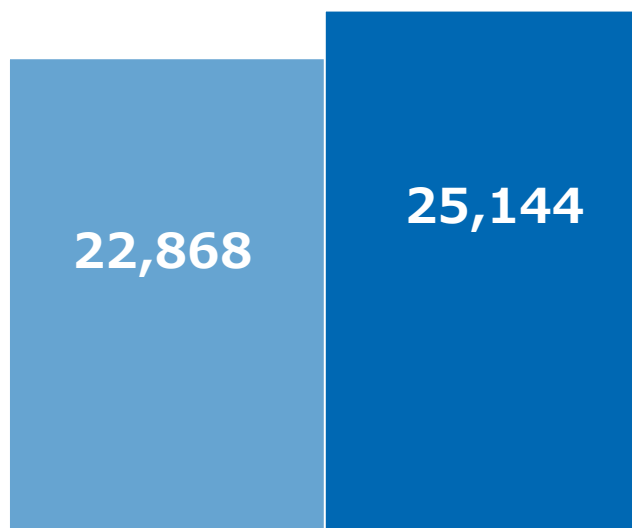


営業収益・営業利益対比表

(単位：百万円)

営業収益

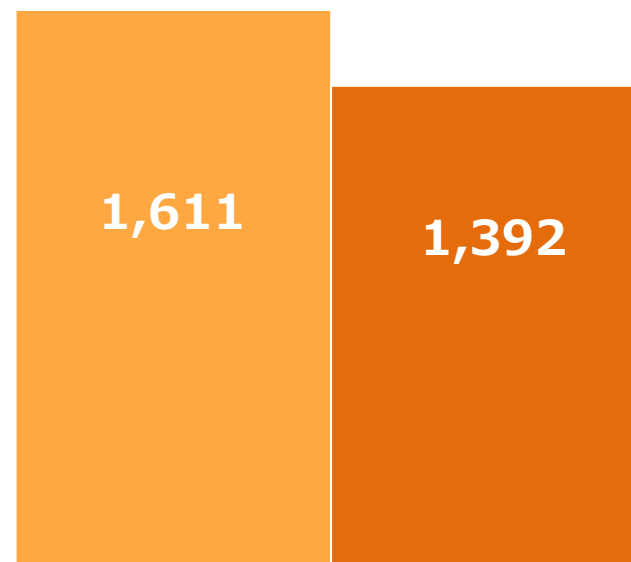
■ 前期上期 ■ 今期上期



物流事業・不動産事業ともに好調により、前期比増収

営業利益

■ 前期上期 ■ 今期上期

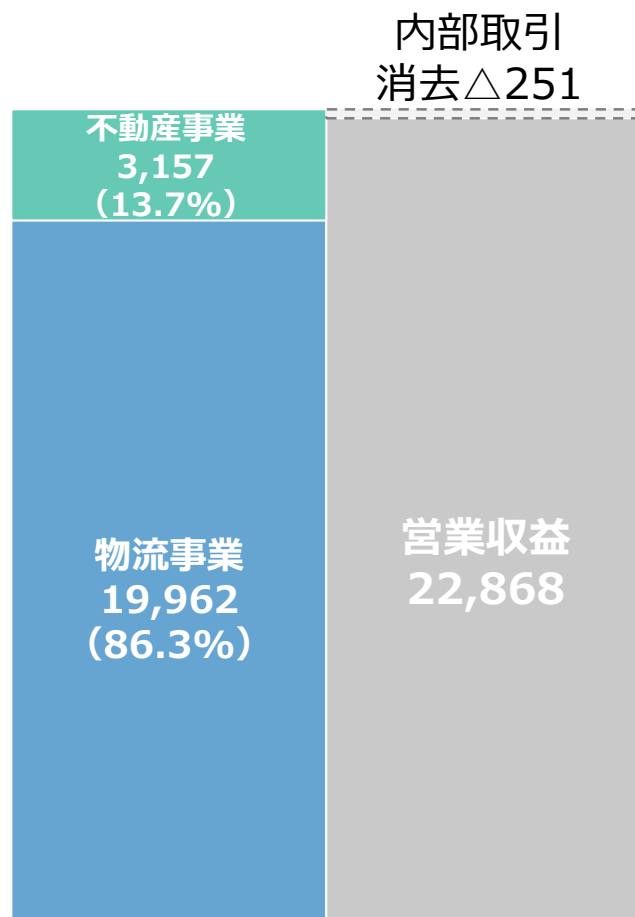


物流施設の新設に伴う各種営業原価や販管費の増加などにより、前期比減益

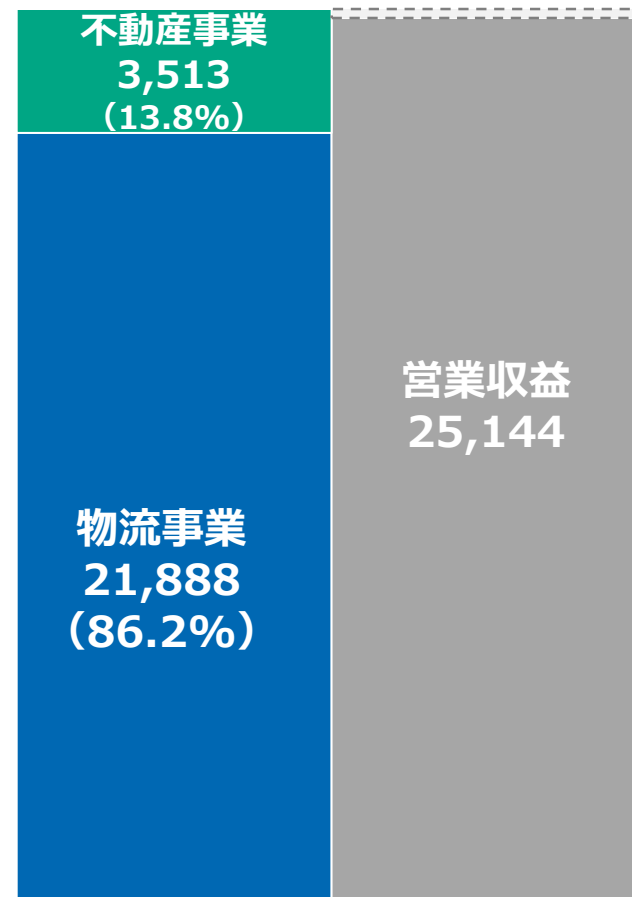
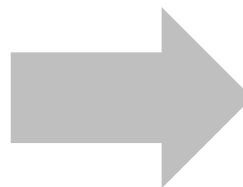
セグメント別営業収益

(単位：百万円)
() 内は構成比

内部取引
消去△256



2021年3月期
上期

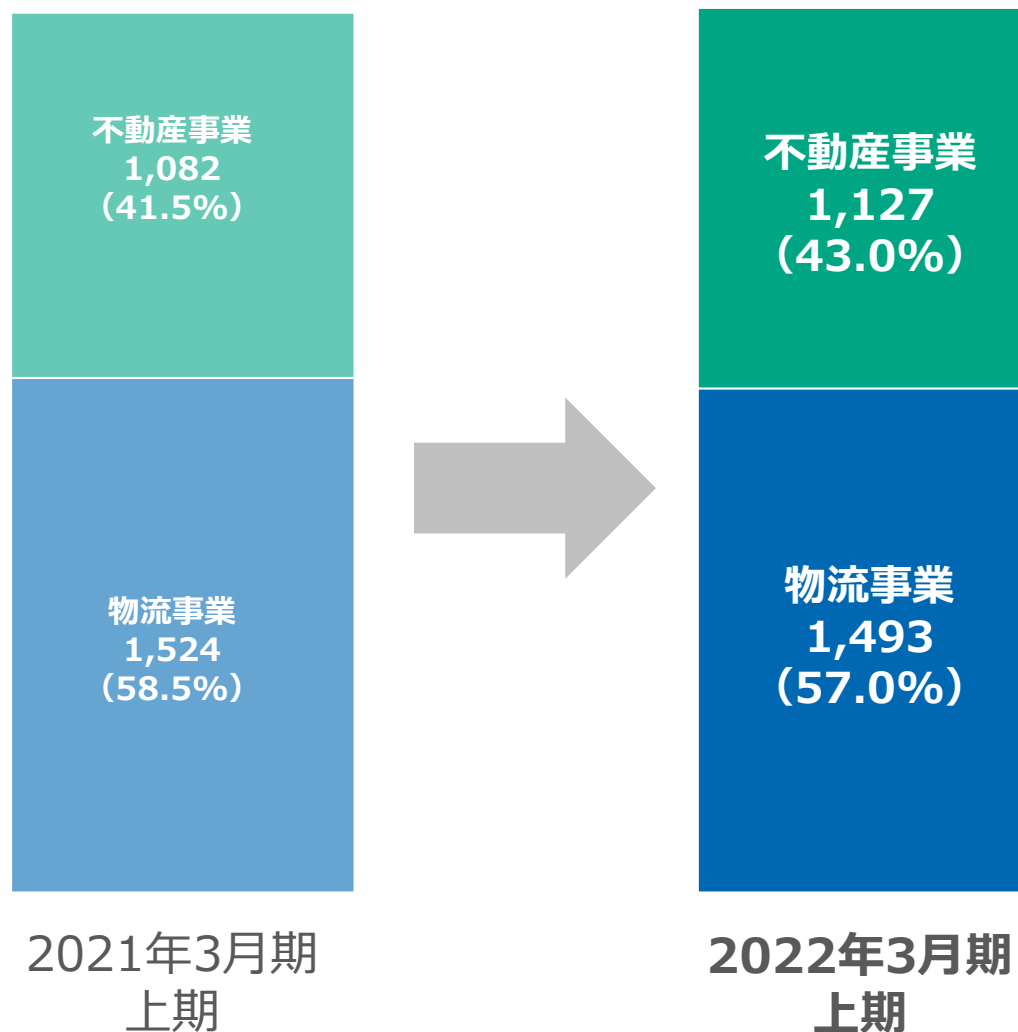


2022年3月期
上期

セグメント別営業利益

(単位：百万円)

注：（）内は構成比

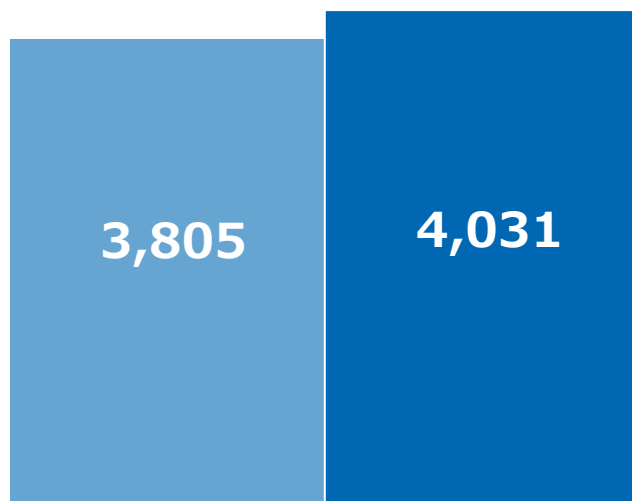


物流事業 営業収益科目別対比表

(単位：百万円)

保管料

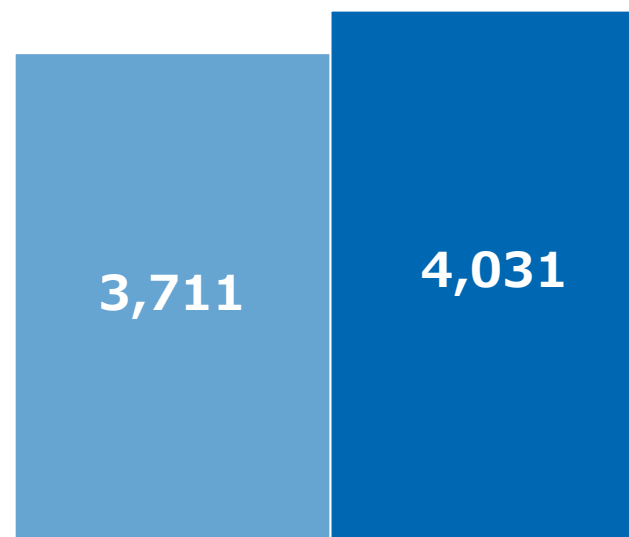
■ 前期上期 ■ 今期上期



物流施設の新設や拡張などにより
前期比増収

倉庫作業料

■ 前期上期 ■ 今期上期



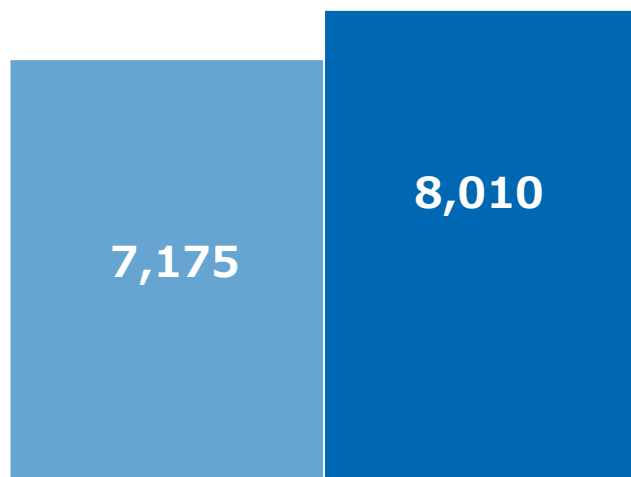
物流施設の新設やコロナ禍からの
回復などに伴う作業増加により
前期比増収

物流事業 営業収益科目別対比表

(単位：百万円)

陸運料

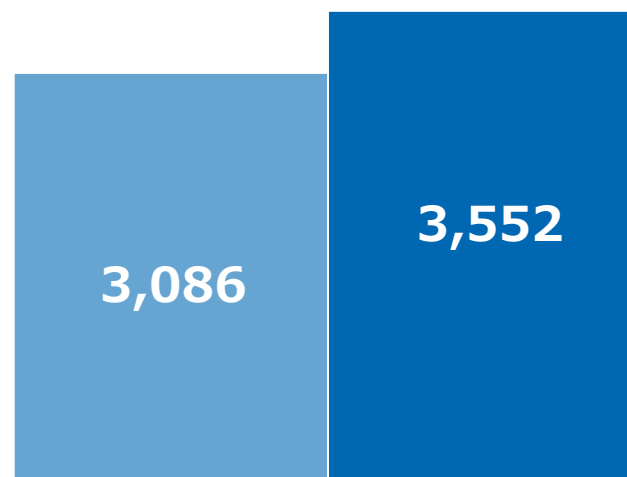
■ 前期上期 ■ 今期上期



物流施設の新設やコロナ禍からの回復などに伴う陸運取扱増加により前期比増収

国際貨物取扱料

■ 前期上期 ■ 今期上期



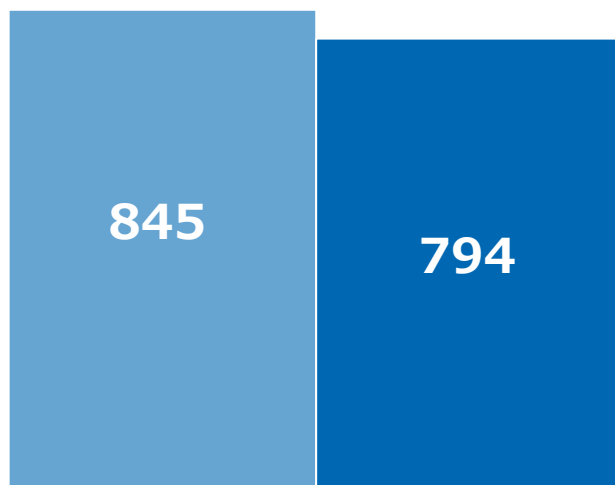
海上コンテナ不足による海上運賃の高騰や航空輸送の増加等により前期比増収

物流事業 営業収益科目別対比表

(単位：百万円)

物流賃貸料

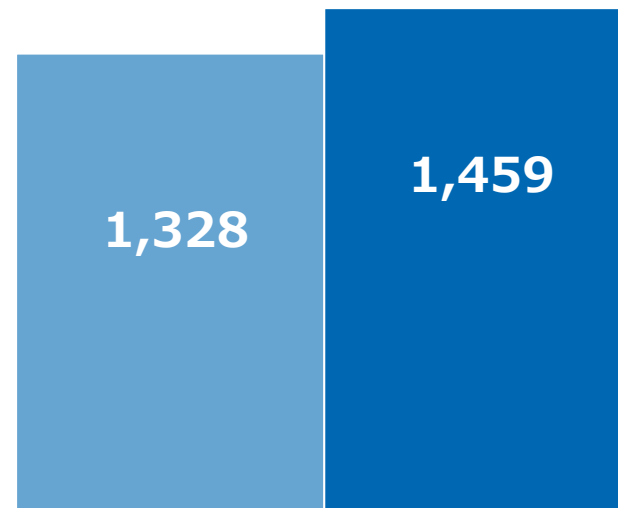
■ 前期上期 ■ 今期上期



一部施設の修繕工事計画に伴う稼働率低下により前期比減収

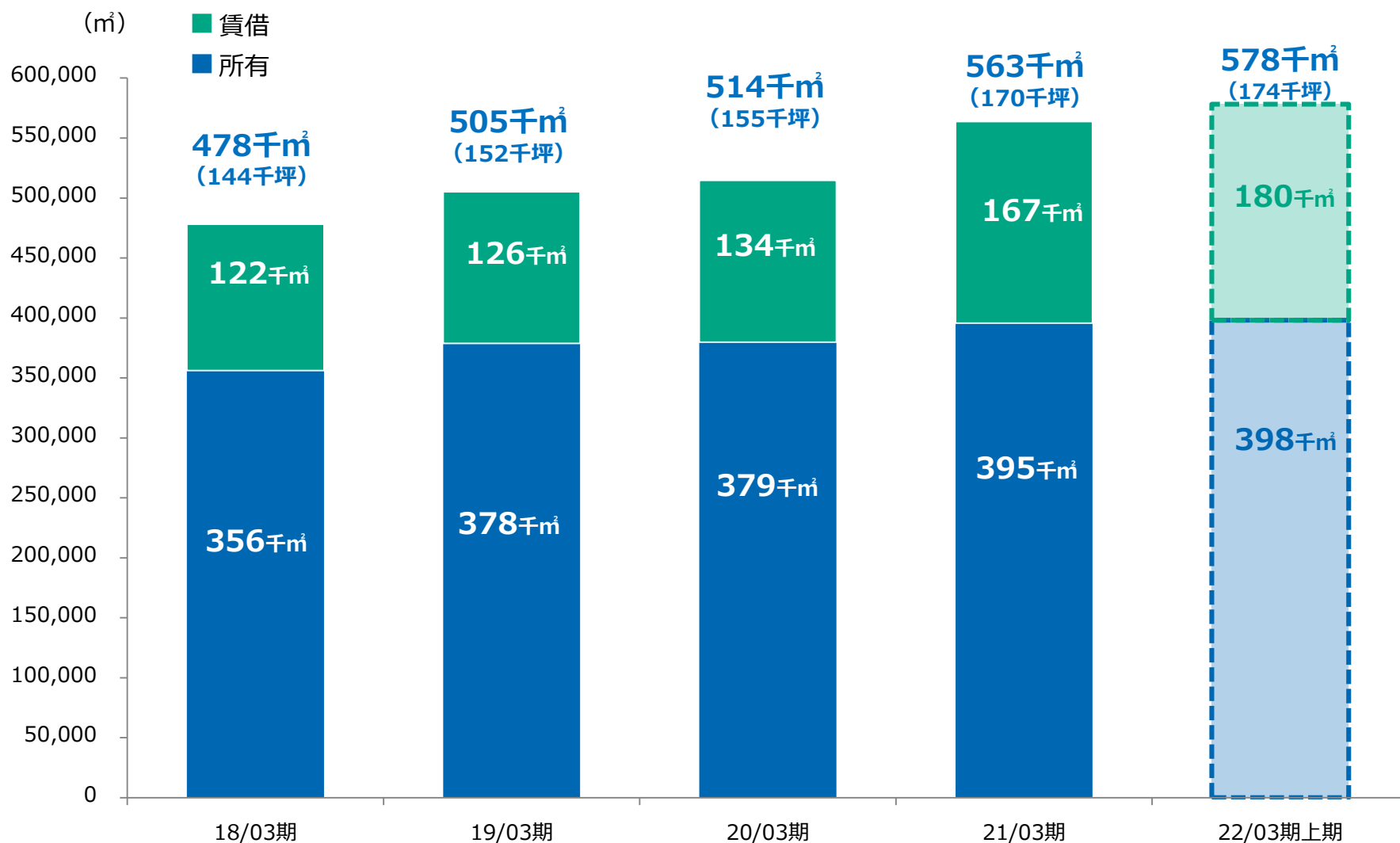
その他（物流）

■ 前期上期 ■ 今期上期



物流付帯業務の取扱増加により前期比増収

物流事業 施設面積推移

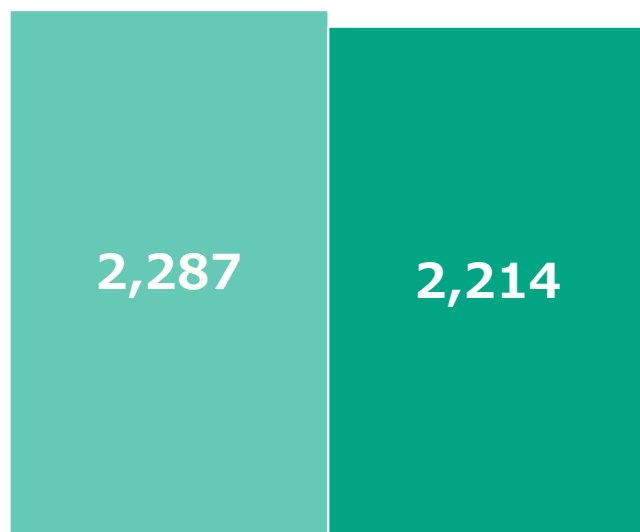


不動産事業 営業収益科目別対比表

(単位：百万円)

不動産賃料

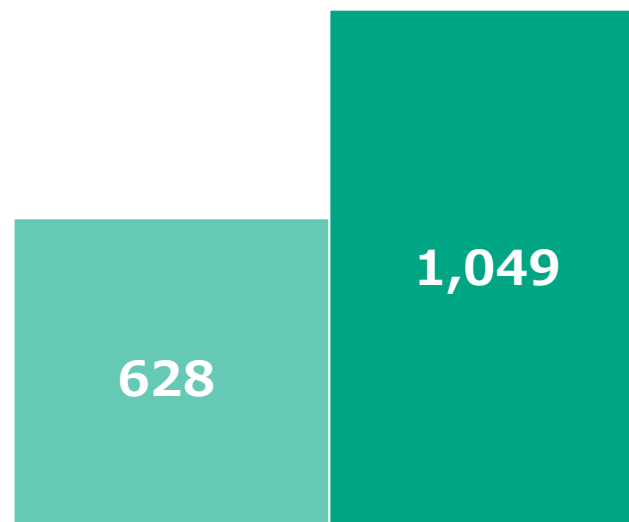
■ 前期上期 ■ 今期上期



テナントの入替などに伴う稼働率低下により前期比減収

その他（不動産）

■ 前期上期 ■ 今期上期



施工工事の増加などにより前期比増収

トピックスⅠ：都心にメディカル物流向け倉庫を増強



名 称	(仮称) 羽田営業所 (羽田メディカルロジスティクスセンター)
-----	------------------------------------

所 在	東京都大田区昭和島二丁目11番地19
-----	--------------------

敷地面積	1,272坪 (4,206㎡)
------	-----------------

用地取得日	2021年9月30日
-------	------------

開設予定	2023年8月
------	---------

倉庫外観



名 称	東雲営業所 辰巳倉庫 (東京メディカルロジスティクスセンターⅡ)
-----	-------------------------------------

所 在	東京都江東区辰巳3-6-3
-----	---------------

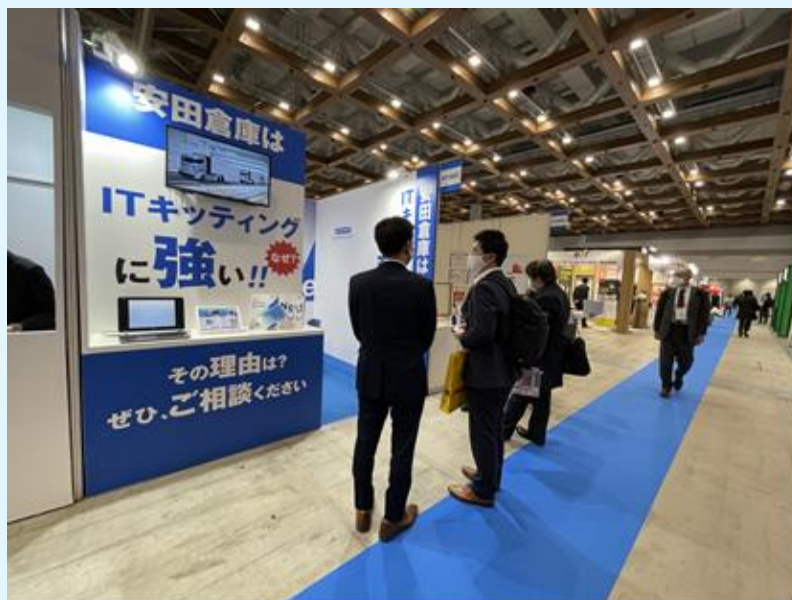
敷地面積	約1,600坪 (約 5,200㎡)
------	--------------------

延床面積	約5,400坪 (約17,800㎡)
------	--------------------

主要構造	鉄骨造 地上7階建て
------	------------

開 設	2021年1月
-----	---------

トピックスⅡ：IT機器物流サービスの拡充



▲ リテールテック JAPAN 2021出展

調達処理はお客様にて対応頂きますが、
その他のライフサイクルにおける業務について
トータルでご支援致します。



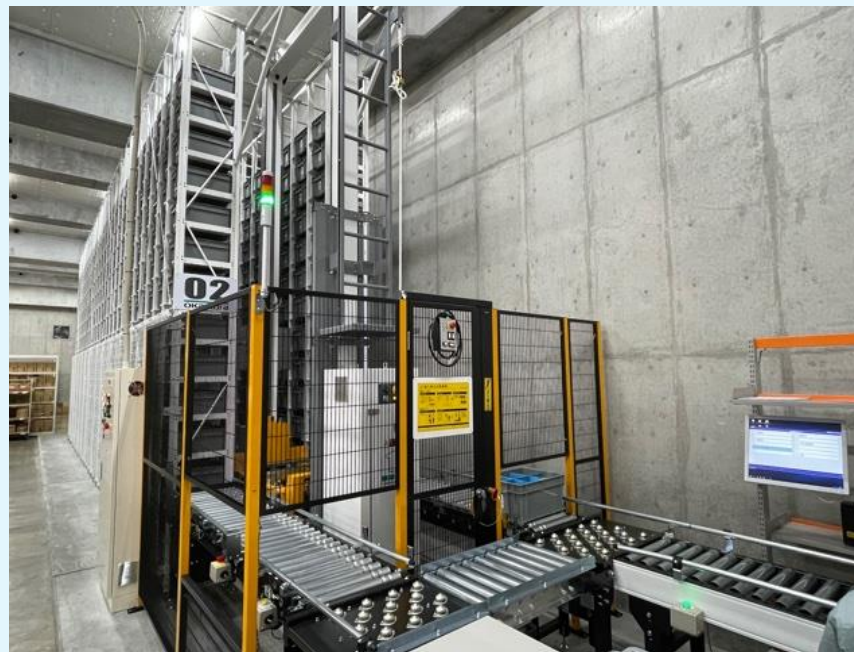
IT機器物流サービスの更なる事業拡大に向け、2021年3月「リテールテック JAPAN 2021」に初出展し、PCのライフサイクルマネジメントや各種IT機器のキッティング実績を紹介いたしました。

また、文部科学省のGIGAスクール構想の実現に向けた1人1台端末整備事業を受託し、首都圏を中心に各地でサービスを提供いたしました。今後もお客さまからの様々なニーズにお応えすべく、サービスの充実を図ってまいります。

トピックスⅢ：自動化への取り組み



▲ ピースソーター（自動仕分け）システム



▲ スタッカークレーン（自動倉庫）

物流業界では、労働人口の減少やEC市場の拡大による荷量の急増などの課題に直面しております。

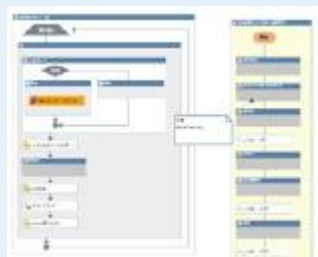
当社グループでは、これらの課題克服と更なる事業拡大をはかるため、ピースソーターシステムやスタッカークレーンの導入など、物流現場の自動化の取り組みを推進し、単純作業の省人化と、人の手によるきめ細やかなサービスの両立を図ってまいります。

トピックスⅣ：物流におけるDX推進

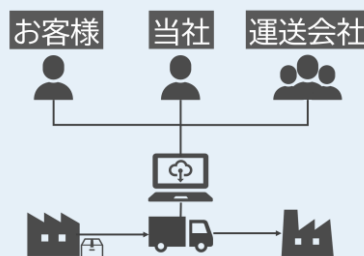
主な取り組み事例



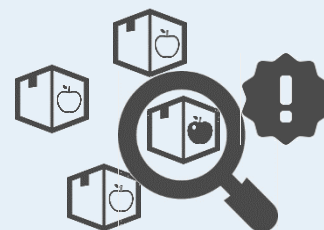
2021年2月に新設した「DX事業推進室」では、当社グループの物流サービスやビジネスモデルの変革・進化の促進を目的として、最先端テクノロジー・デジタル技術の活用に向けた検討や実証実験を実施し、効果の見込める技術・システムについては随時導入を進めております。



RPA（＝ロボティクス・プロセス・オートメーション）の活用によるPC上の定型作業の自動化を推進中



2021年7月より当社一部拠点にて、クラウド型配送案件管理システム導入による配車業務の省力化実現



AI画像解析技術を用いた検品業務自動化・省力化に向けて、顧客への提案活動を展開中

RFルーカス社との協業

YASUDA
Logistics, Progress, Borderless.

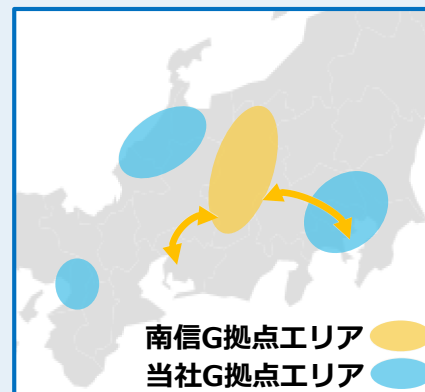


RFLOCUS

RFルーカス社のRFID（電子タグ）の位置情報特定特許技術の活用による新規物流サービスの構築に向け研究を重ねております。

トピックスⅤ：南信貨物自動車のグループ会社化

本社



長野県全域に拠点展開し、
甲信地区から
関東圏、中京圏までを結ぶ
ネットワーク



大型車両から小型車両、
冷蔵・冷凍車両など、
グループ全体で300台を
超える車両を保有

会社名	南信貨物自動車株式会社
本社所在地	長野県松本市笹賀7600-7
主な事業内容	一般貨物自動車運送事業
創業・設立	創業：1923年4月 設立：1943年3月
代表者	丸山 光彦
関係会社	(株)パワード・エル・コム 城南運送(株) ルピナ車輛サービス(株)

⇒ 安田倉庫グループとして更なる
輸配送ネットワークの拡充を目指す

11月中に全株式取得予定



｜エコシップマーク優良事業者の認定

神奈川県から福岡県までの在庫移動に際し海上輸送を利用することでCO2の削減に貢献。エコシップマークの優良事業者として認定されました。

｜ホワイト物流推進運動への参加

トラック運転手不足が深刻になっている現状に対し、物流の改善提案やモーダルシフトなどの取り組みによる効率的なサプライチェーンによって持続可能な物流の実現をめざします。

｜東京都より「地球温暖化対策優良事業者」Sランクの評価獲得

倉庫内照明のLED化やエネルギー高効率設備への更新の成果として、当社の直近5か年度における二酸化炭素排出量削減などが評価され、2020年度東京都地球温暖化対策報告書制度において、特に優良な事業者としてSランクの評価を受けました。



ESGの取り組み（S）



民間物資拠点（災害時の緊急支援物資保管拠点）

震災などの大規模災害発生時に緊急支援物資を保管し、避難所等へ送り出すために設置する拠点として行政が定める「民間物資拠点」として、当社11拠点が指定されております。



新山下



柏



茨木



九州

ESGの取り組み（G）



ガバナンス体制の強化

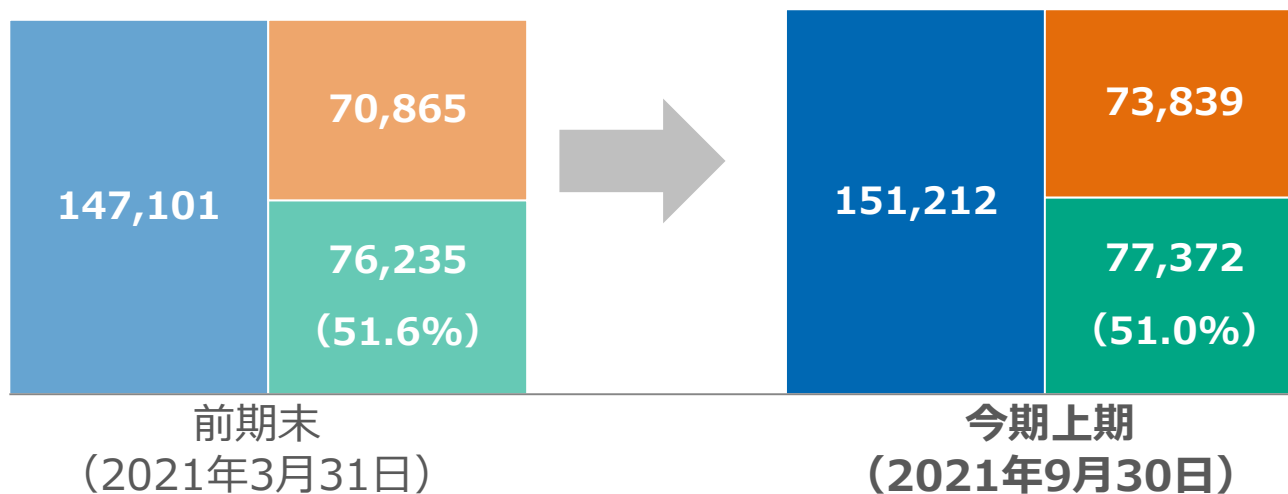
- 指名・報酬諮問委員会の設置 : 2020年2月
- 執行役員制度の導入 : 2020年6月
- 株式報酬制度の導入 : 2020年6月
- 社外取締役1名増加 : 2021年6月

今後もガバナンスの強化に努めてまいります。

連結財政状態

(単位：百万円)

注：（）内は自己資本比率



主な要因

■	総 資 産	土地 (+ 4,225 百万円)
		商品 (+ 1,536 百万円)
		現金及び預金 (△ 1,216 百万円)
■	負 債	短期借入金 (+ 4,000 百万円)
		長期借入金 (△ 535 百万円)
■	純 資 産	利益剰余金 (+ 848 百万円)

キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

	21/03期 上期	22/03期 上期	前期比	主な要因
営業活動によるCF	2,231	1,022	△1,209	棚卸資産の増加、 売上債権の増加など
投資活動によるCF	△6,771	△5,130	1,641	有形固定資産の取得による支出 の減少など
財務活動によるCF	8,902	2,825	△6,077	社債の未発行など ※21/03期上期は社債発行実施
期末残高	12,165	7,463	△4,702	

設備投資・借入金

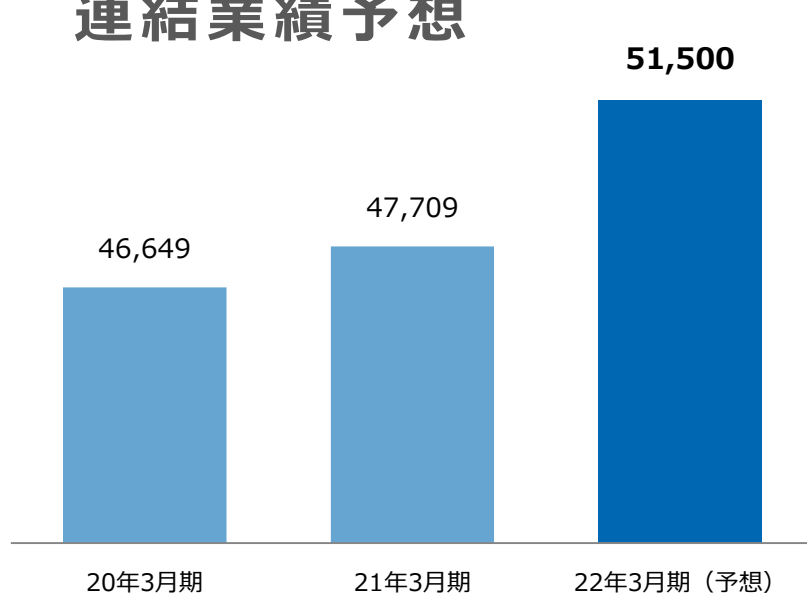
(単位：百万円)

	21/03期	22/03期 上期	22/03期 (計画)
設 備 投 資 額	9,726	4,885	9,500
主 な 投 資 案 件		<u>22/03期</u> ・ 昭和島倉庫用地取得（土地） ・ 既存施設の設備増強、更新 ・ 各種システム・自動化設備への投資 など	
減 価 償 却 費	3,156	1,635	3,372
期 末 借 入 金 残 高 及 び 社 債 発 行 残 高	43,364	46,717	48,274

0 4

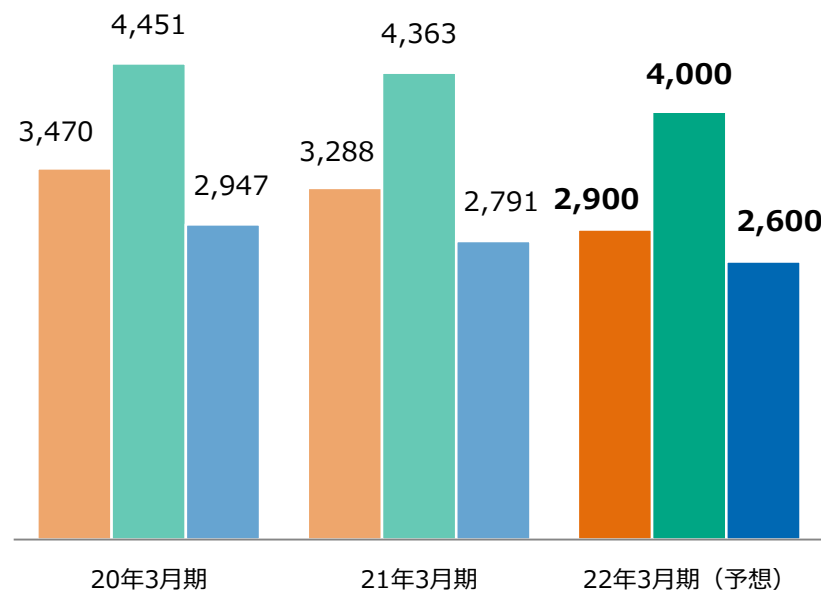
2022年3月期 通期の見通し

連結業績予想



(単位：百万円)

前期比		
	増減額	増減率
■ 営業収益	3,791	7.9%



(単位：百万円)

前期比		
	増減額	増減率
■ 営業利益	▲388	▲11.8%
■ 経常利益	▲363	▲8.3%
■ 親会社株主に帰属する当期純利益	▲191	▲6.9%

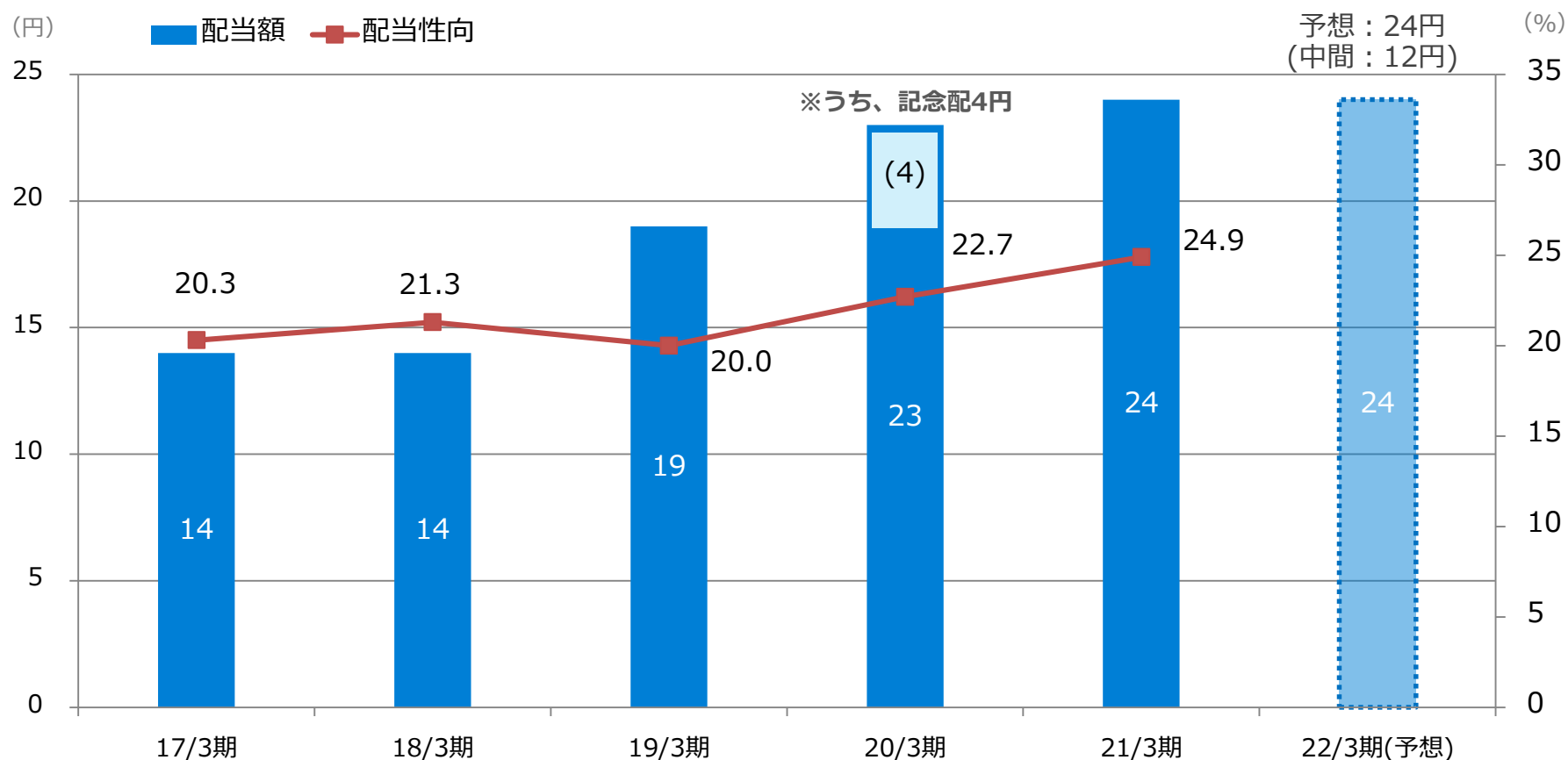
- ・営業収益は、新規施設の稼働や倉庫・輸配送ネットワークの拡充など事業基盤の強化により増収を見込む。
- ・営業利益は、物流施設の拡充、既存施設の修繕、経営インフラの強化などに伴う営業費用の増加などにより減益を見込む。

安定配当を基本としつつ利益水準等を勘案し決定

<基準日>

■ 中間配当：9月末

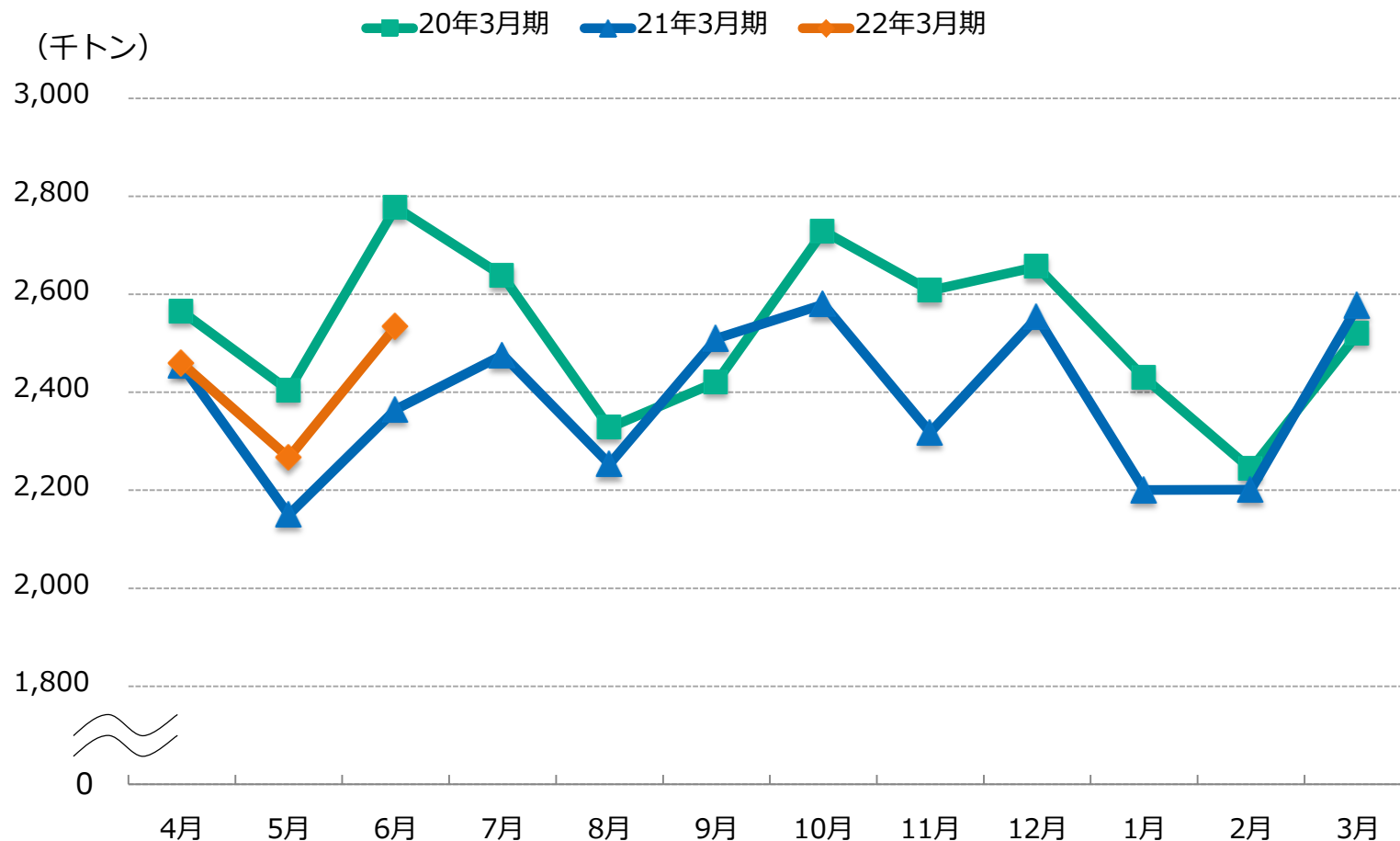
■ 期末配当：3月末



0 5

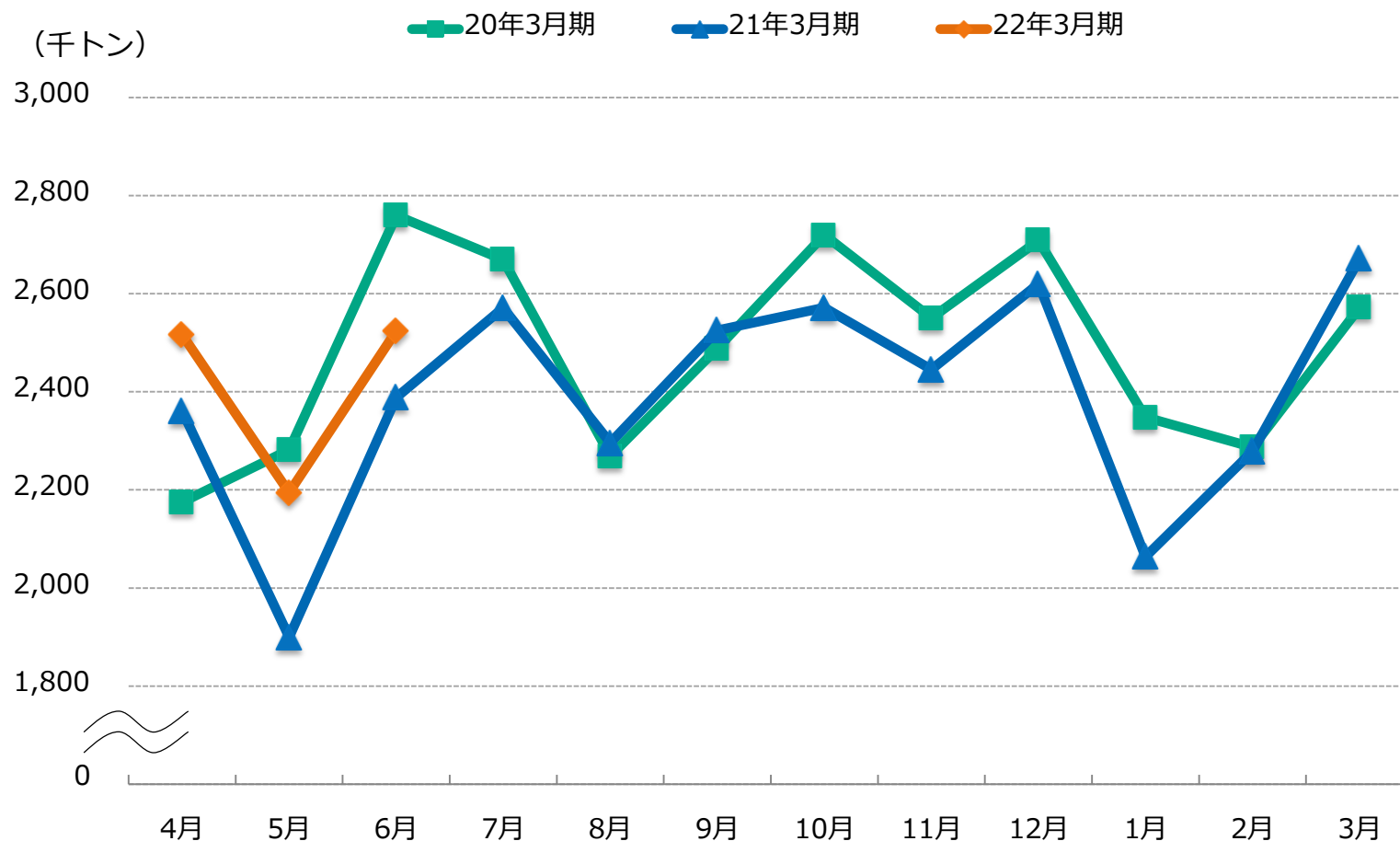
参考資料

普通倉庫 2 1 社統計 入庫高



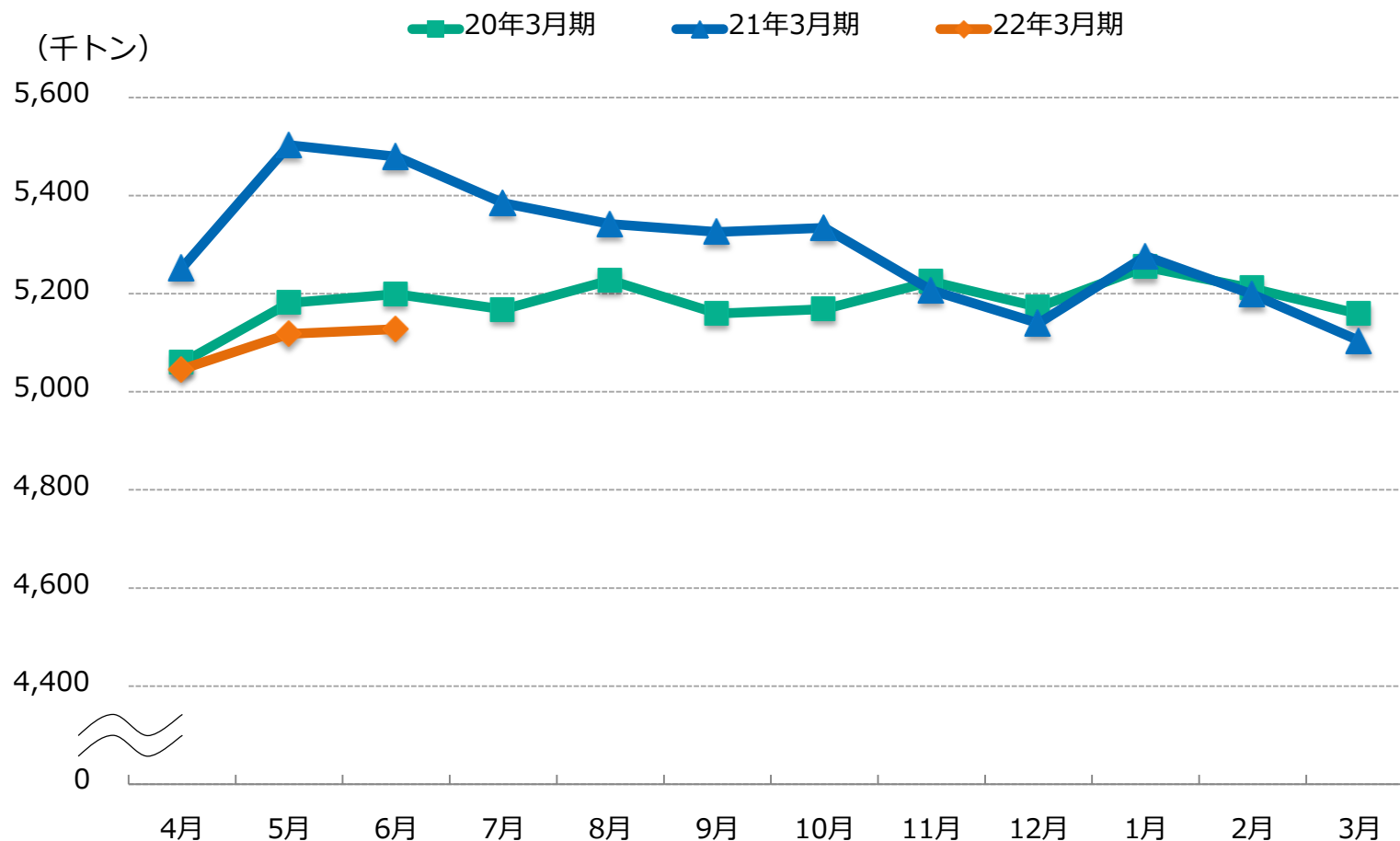
データ出典：一般社団法人 日本倉庫協会

普通倉庫 2 1 社統計 出庫高



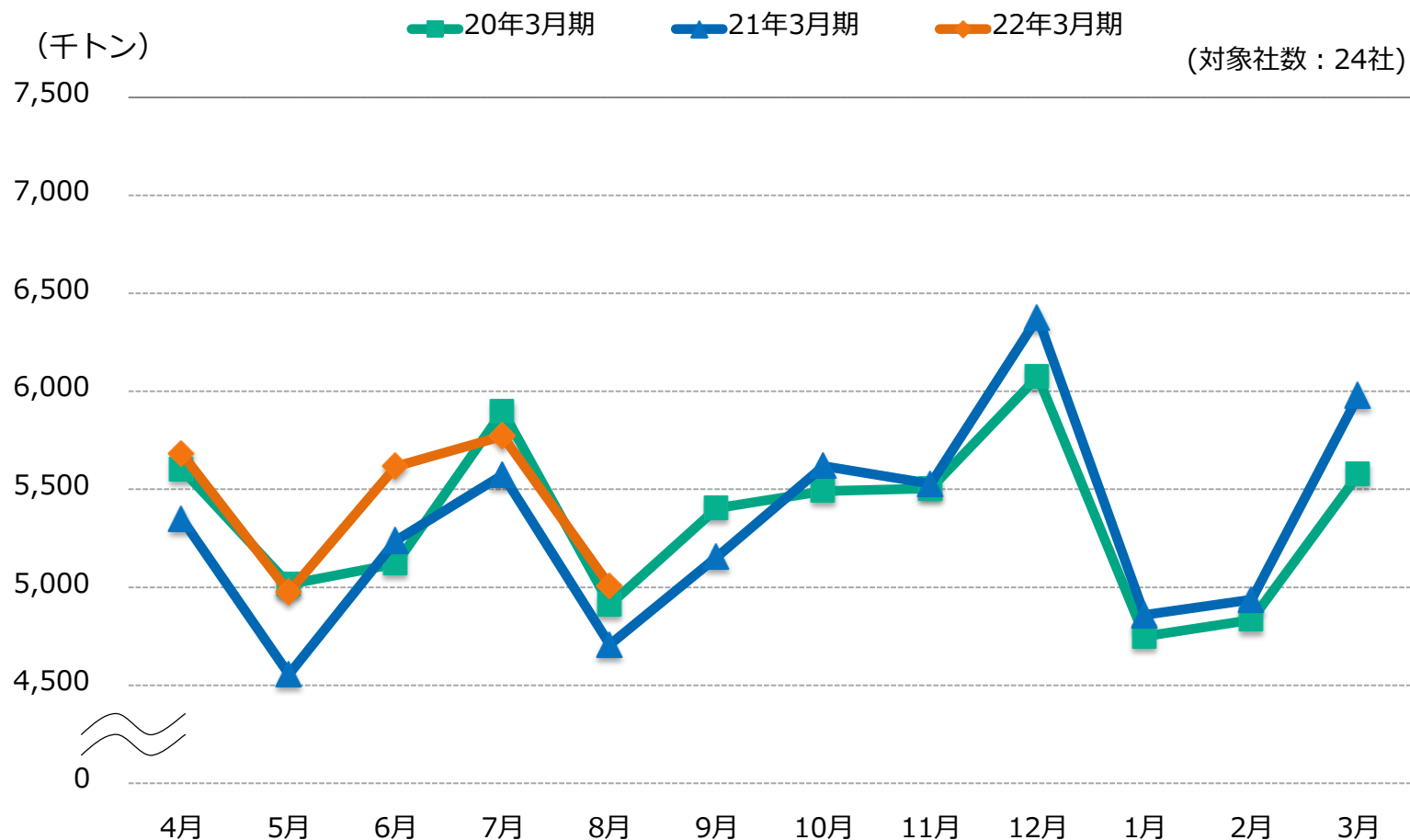
データ出典：一般社団法人 日本倉庫協会

普通倉庫 2 1 社統計 保管残高



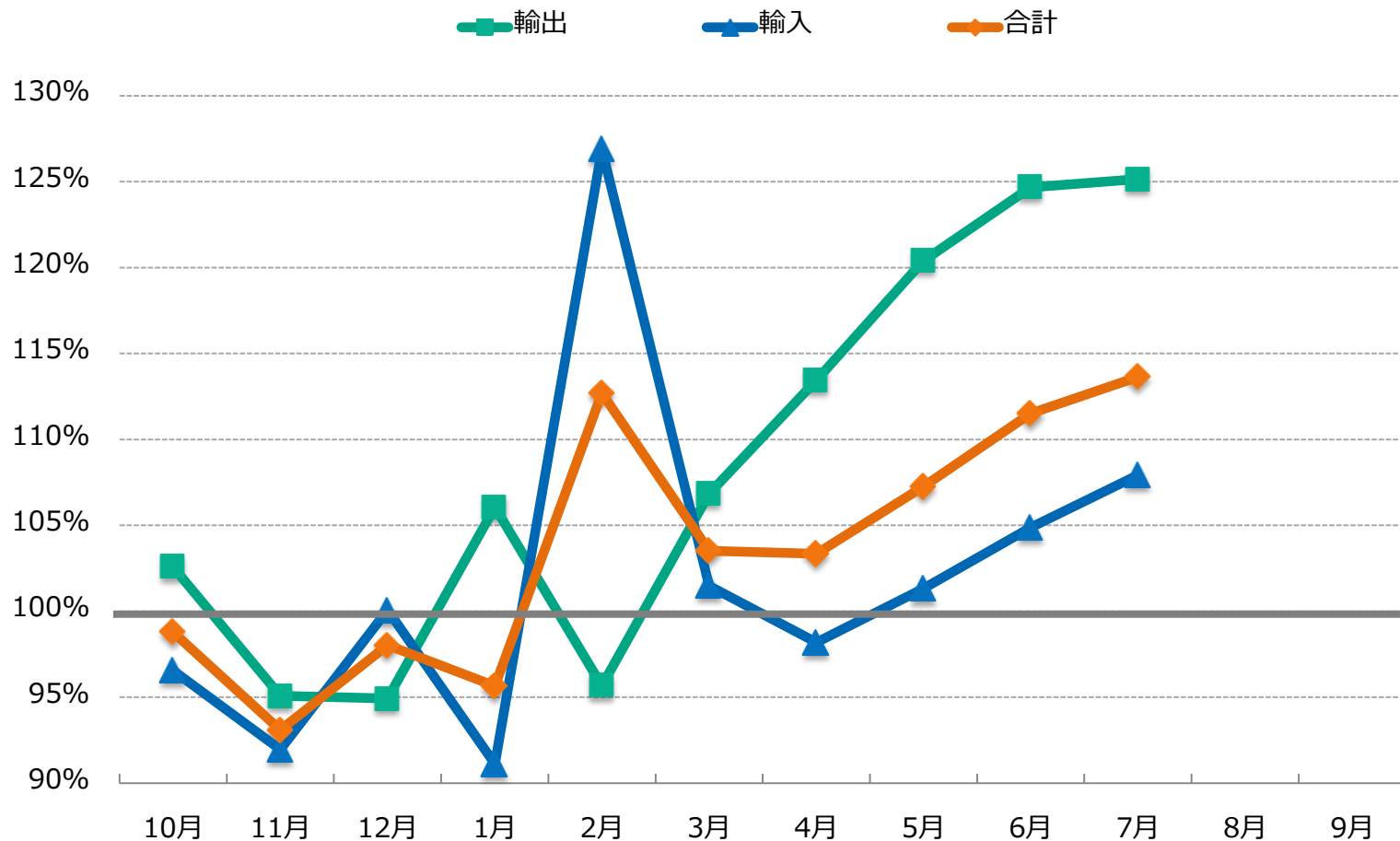
データ出典：一般社団法人 日本倉庫協会

特積貨物輸送トン数（宅配含む）



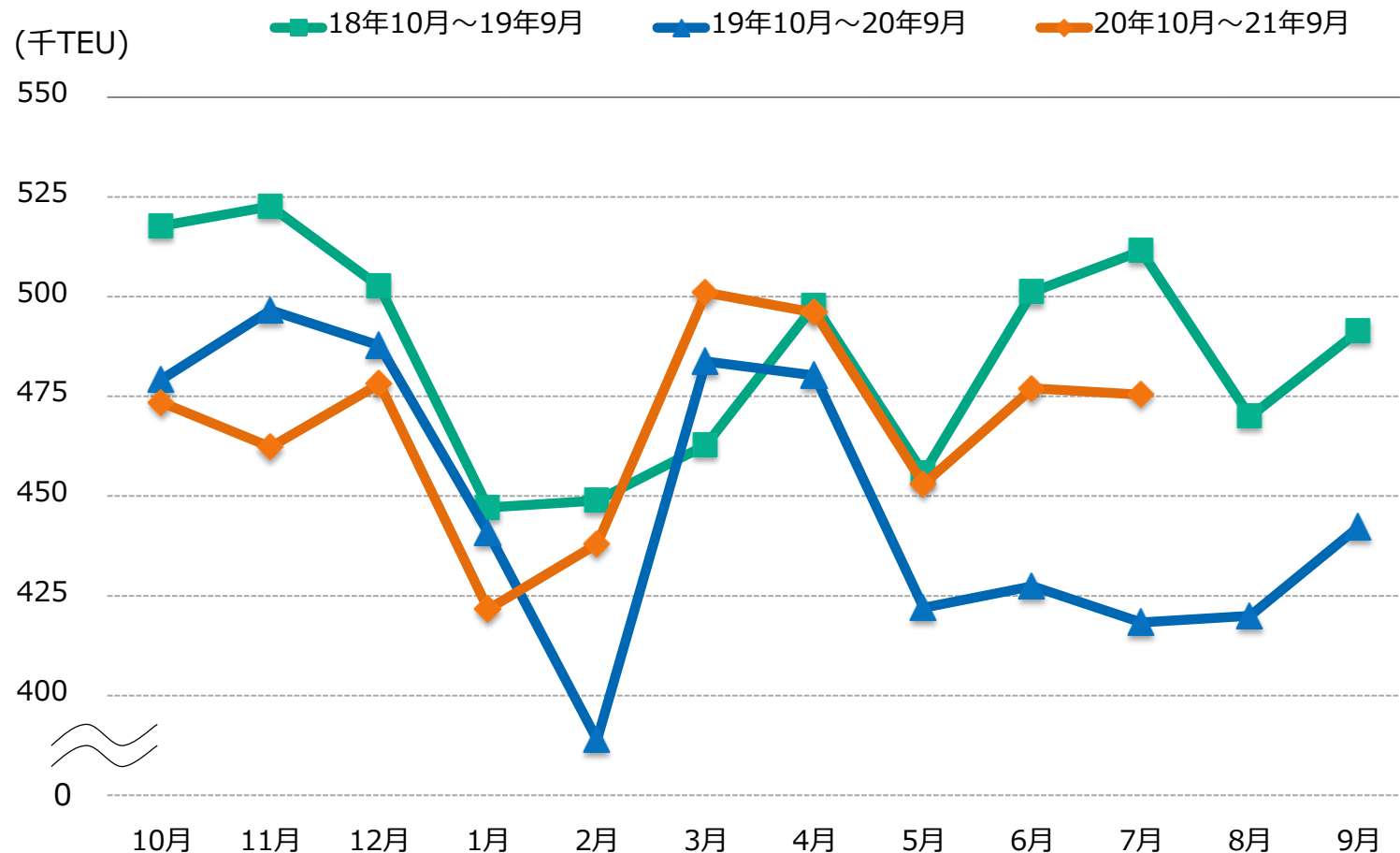
データ出典：国土交通省 トラック輸送情報

京浜港コンテナ取扱本数 前年同月比



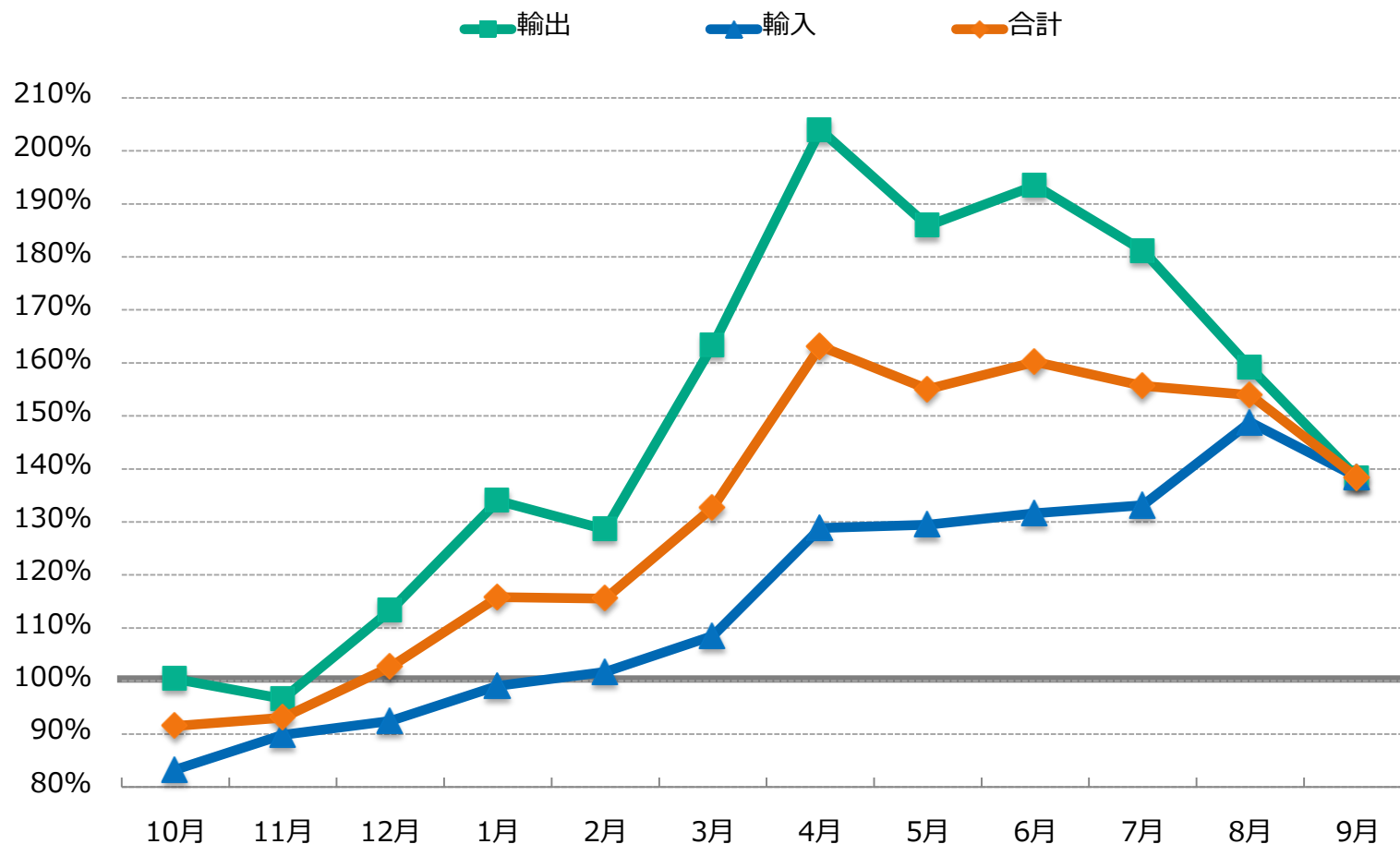
データ出典：東京都港湾局 港湾統計、横浜市港湾局 横浜港の統計

京浜港コンテナ取扱本数 輸出入合計



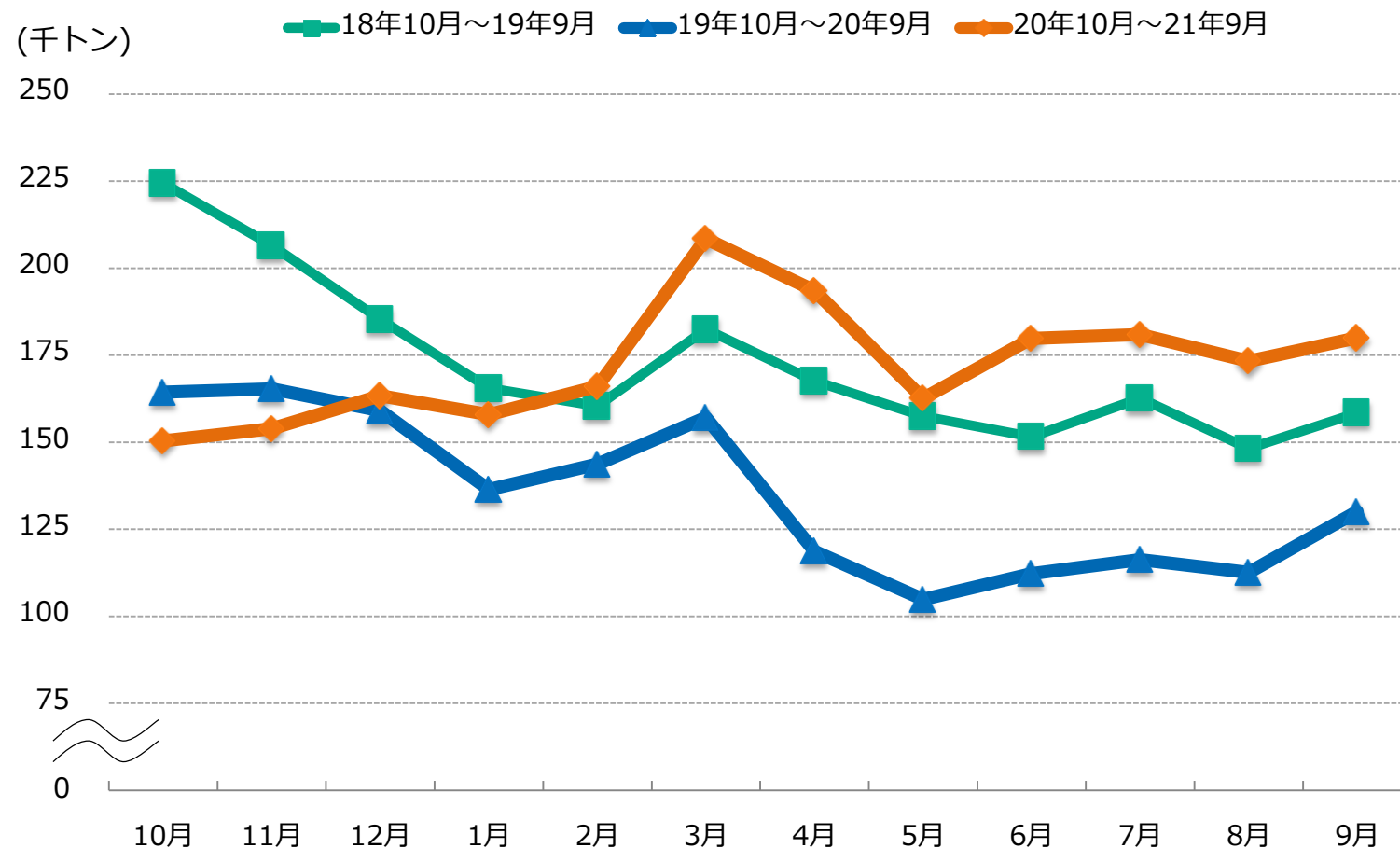
データ出典：東京都港湾局 港湾統計、横浜市港湾局 横浜港の統計

国際航空貨物取扱量（t数ベース） 前年同月比



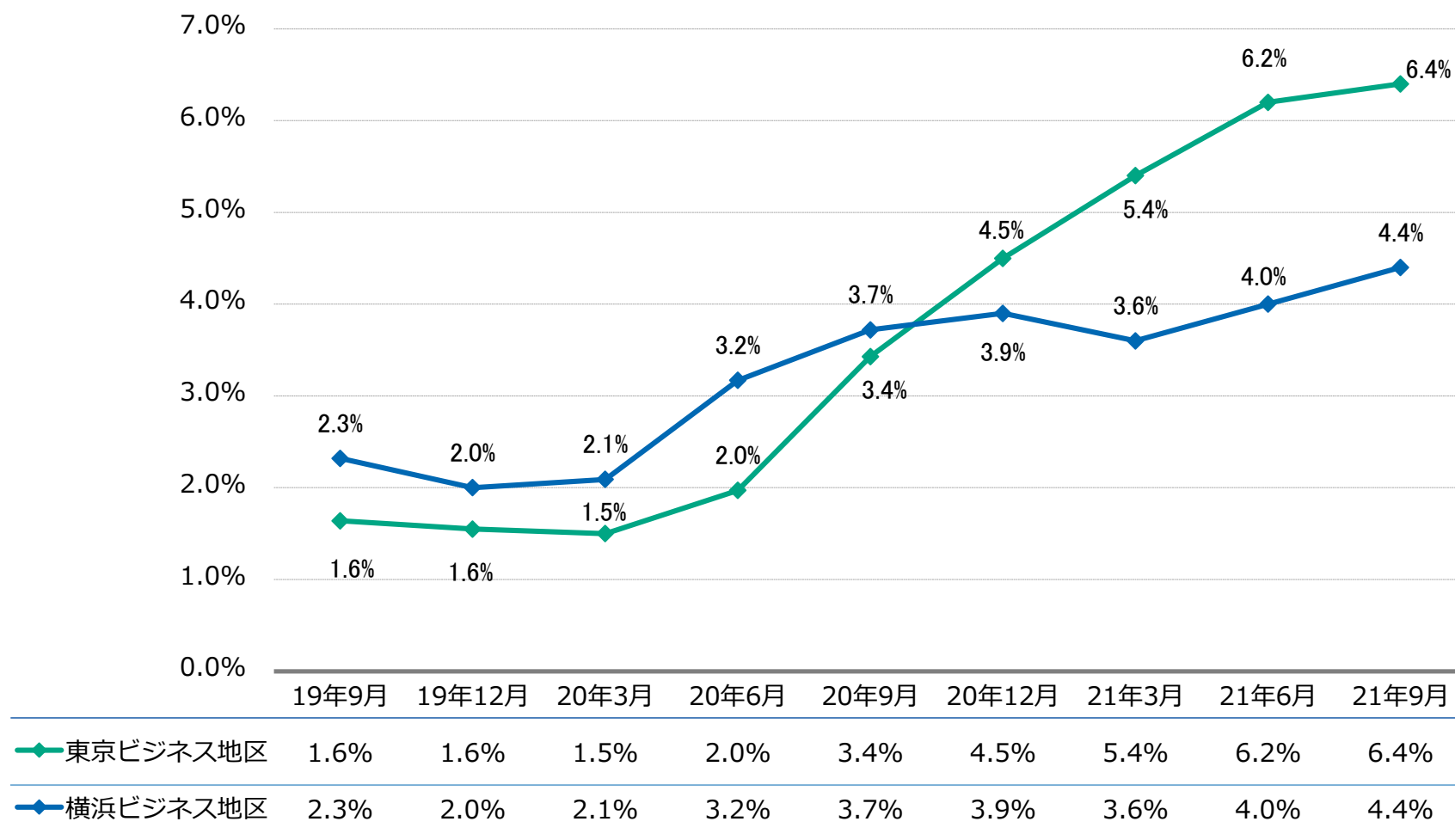
データ出典：一般社団法人 航空貨物運送協会

国際航空貨物取扱量 輸出入合計



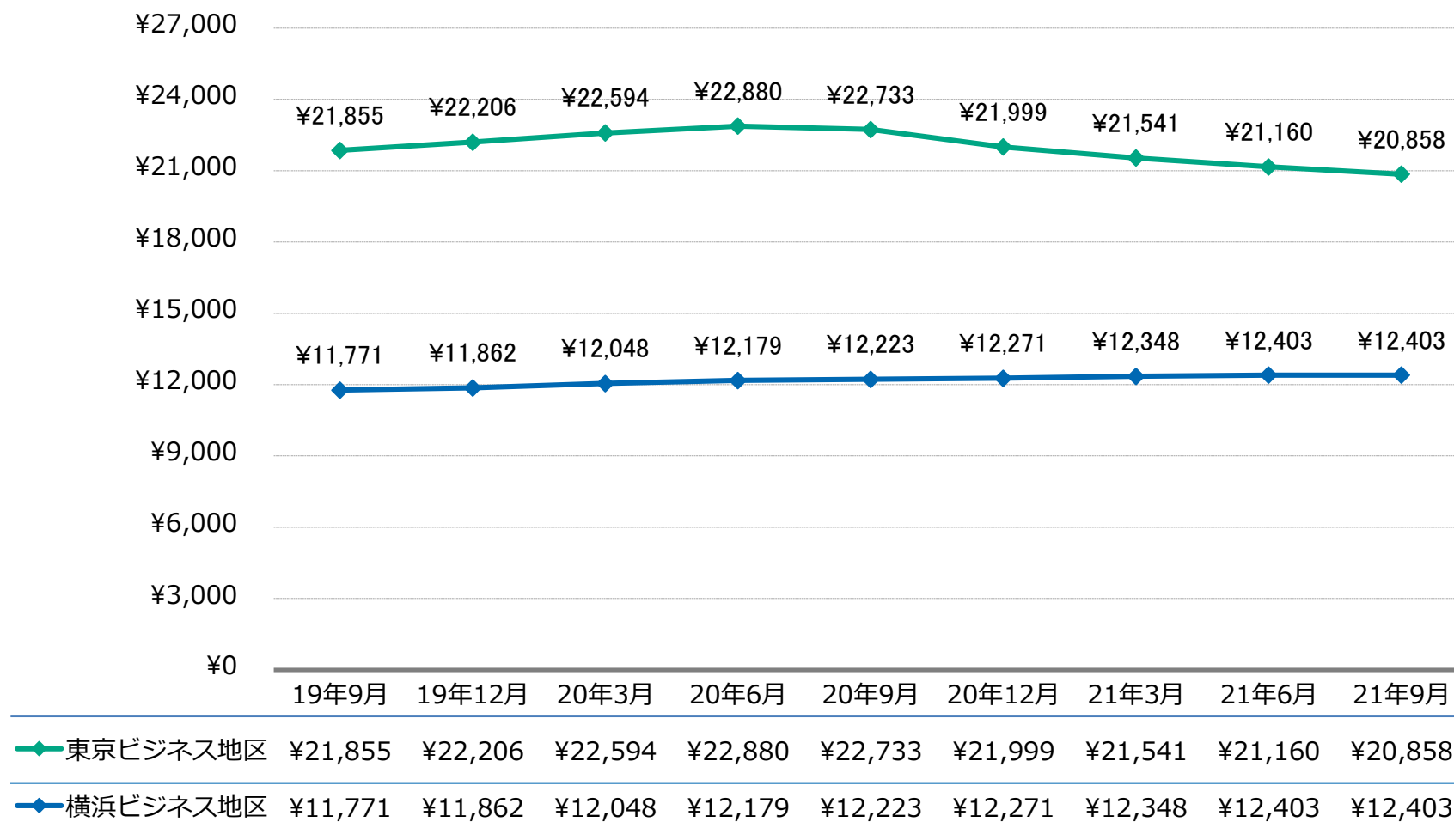
データ出典：一般社団法人 航空貨物運送協会

空室率



データ出典：三鬼商事株式会社 市況・データ情報

募集賃料相場（円／坪）



データ出典：三鬼商事株式会社 市況・データ情報

いま見える未来は、超えていける。

安田倉庫は、挑戦を続けます。

国境も、従来の物流の枠も超える、ボーダレスなロジスティクスカンパニーへと進化するために。

そして、お客様が思い描く事業と社会の新しいかたちを創造するために。



Logistics, Progress, Borderless.

YASDA
安田倉庫株式会社

当資料は、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。当資料は、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであります。

将来の業績は、経営環境等の変化に伴い、目標や計画に対し変化し得ることにご留意下さい。

投資を行う際には、必ず弊社が作成する有価証券報告書等をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。